

少しの油断が悲しい結果に……

平成4年 白根警察署管内交通事故

死者数が倍増！

平成四年中に起きた白根警察署管内の交通事故の状況がま
とまりました。残念ながら件数、死者数、負傷者数ともに前
年を大きく上回っています。特に死者数は二倍になるとい
う悲しい結果に。これ以上犠牲者を出すわけにはいきません。
交通事故を起こさないよう運転者一人ひとりが交通安全を心
掛けましょう。

死者数が2倍に



平成四年中の白根警察署管内で発
生した交通事故は、件数、死者数、
負傷者数ともに前年と比べ大きく上
回りました(グラフ)。特に死者数
は前年の五人から十人へ倍増。これ
は昭和五十三年以降(過去十四年間)
では最悪の記録となりました。
死者数の内訳としては、高齢者の
事故によるものが四人、原付バイク
の事故によるものが三人、広域農道
の事故によるものが三人となってい
ます。原因としては前方不注意やス
ピードの出し過ぎなどが多く、ちょ
っとした油断が死亡事故につながっ
てしまったようです。
事故全体の傾向としては、歩行者

事故、子供事故、若者事故が増えて
おり、特に歩行者の事故は五〇%も
増加。飛び出しや無理な横断など、
ドライバーだけでなく歩行者のモラ
ルも問題となっています。若者事故
の多くは暴走や信号無視など交通法
規に違反したことが原因で発生して
います。
また近年大きな問題となっている
高齢者の事故は、若干減少したもの
の、まだまだ高い数値を示していま
す。特に夜間の事故が目立ちます。
高齢者の方々は夜の運転はなるべく
差し控えましょう。自転車あるいは
歩いて出掛けるときは、反射シール
をはったり明るい服装をしたりして
ドライバーからよく見えるようにし
ましょう。

事故多発、国道8号

白根警察署管内で事故が多発する
場所は何といっても国道8号です。
交通量が多いこともあり、発生件数
の約半分がここで起きています。国
道8号で発生する事故の特性として
追突事故が多い点が挙げられます。
新潟から続いてきた渋滞から開放さ
れ、ちよつとした気の緩みからつい
スピードを出してしまったり、わき
見運転をしてしまったりして、追突
事故につながるケースが多いよう
です。交通量の多い国道8号では事故に
遭う可能性も非常に高くなります。常
に気を引き締めて運転しましょう。
また、最近、死亡事故の多発地帯

となってきたのが広域農道です。四
年中に三件の死亡事故が発生しまし
た。広域農道は交通量が少なく直線
が多いことから、ついスピードを出
してしまいがち。見通しも良いので
安全確認を怠ってしまうようです。
広域農道での事故は、件数は少ない
ですがスピードが出ているため悲惨
な死亡事故につながることも多いの
です。制限速度は必ず守りましょう。

油断が重大事故に

多発する交通事故。事故を全く無
くすることは不可能ですが、一人ひと
りの心掛けしだいでは発生件数をぐ
んと減らすことができるはずですよ。

死者数ゼロを目指して

今年に入って新潟県内ではすでに
九十七人の死亡者が出ました(四月
三十日現在)。前年の同時期と比べ
て二十二人も上回っています。この
増加数は全国でもワースト1の値
です。しかし白根警察署管内では死
者数ゼロという、うれしい記録が続
いています。いつまでもこの記録を
続けたいものです。
交通安全都市を宣言した白根市。
交通事故統計の数字の一人とならな
いよう、市民一人ひとりが交通ルー
ルを守り安全運転を心掛けましょう。



新潟県警から発行された小冊子「ど
こへ行ってしまったの」——交通
事故の波紋——から一編を掲載し
ます。

心の傷跡

公務員・女性(41歳)

一瞬、ガーンと頭の中が真っ白になった気
がしました。私が事故を起こした瞬間でした。
今、思い出すのも恐ろしい場面です。
日暮れの早い十二月のことでした。夕方と
いっても、もう暗くて雨も降っていました。
私は勤めを終えて二、三カ所用事を済ませ、
いつもの通り慣れた道を運転していました。
別に帰りを急いでいたわけではなかったのに、
右側の小路から飛び出してきた子供が見えな
かったというか、見つけるのが遅かったのだ
です。「あっ」と思った時、子供は車のすぐ横
でした。慌ててブレーキを踏んだのですが間
に合わなくて……。あれから四カ月になろう
としています。でも私は一日に何回も思い出
します。

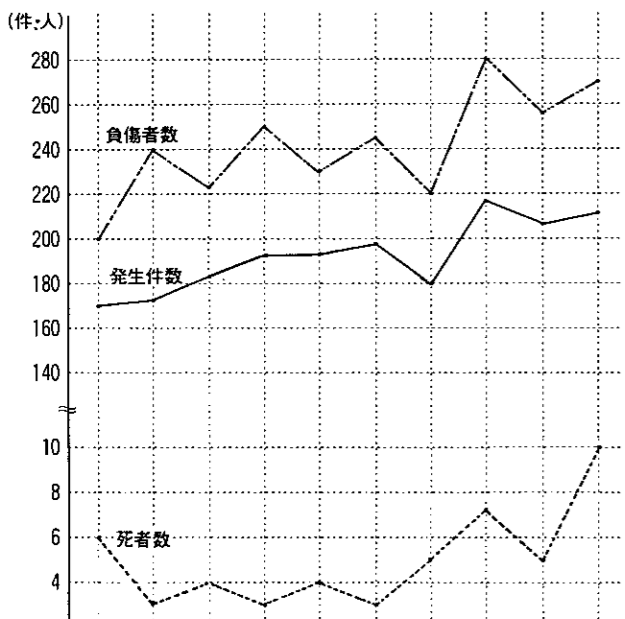
亡くなった子供さんはK子ちゃんといい、
当時、小学校二年生、七歳でした。かわいそ
うな事をしてしまった。申し訳ない事をし
てしまった。事故の事を考えると自分自身では
どうしようもない気持ちになります。気持ち
が暗くなり、胸が締め付けられるようです。
時々、自分がおかしくなるんじゃないかと考
えます。私にも小学生の子供がいます。母親
が毎日こんな気持ちでいることは子供にも影
響するはずですよ。以前は何の屈託もない明
い子でしたが、最近は何となくはつきりしな
いことがあります。担任の先生にも「少し引込

み思案になったのでは」と言われてしまいま
した。私の起こした事故のせいだと思つ
らい気持ちです。私が苦しむだけでなく家族
も苦しんでいます。もちろんK子ちゃんをな
くした被害者の家族の苦しみ、悲しみも同じ
だと思えます。それ以上かもしれません。事
故から今まで職場や近所の方や友達、いろん
な人に迷惑をかけてきました。私は保育所に
勤務していますので、父兄の方々にも心配を
かけてしまいました。

病院でK子ちゃんの容態が危ない時、三日
間付きつきりでした。子供は妹に任せ、病院
には職場の上司がずっと一緒に付き添って
くださいました。その間に部長、課長、係長他
いろんな方が様子を見に来てK子ちゃんのお
見舞いをしてくださいました。私は、ただ頭
を下げていただけでした。ほかにどうしてよ
いか分からなかったのです。四日目、K子ち
ゃんは亡くなりました。もうつらいだけでし
た。申し訳ない気持ちをどう表してよいか分
かりませんでした。通夜・葬式と身の置き場
もない気持ちでした。

四十九日が済むと補償の話合いが始まり
ました。保険会社の人と一緒に出掛けました。
一回目、二回目、金額が折り合わず、なか
か話も進みません。仕方がないと思いました。
もし逆の立場なら私もどうするか分かりませ
ん。それでもどうやら保険会社で支払われる
以外に私が慰謝料を払うという形です。ま
りました。私の給料では毎月余裕がありません
が、当然だと思えます。今は示談も済ませ
たが、私の心に取り返しつかない深い傷が残
っています。一生忘れないうつぱい事故は
起こさないという気持ちでいっぱいです。も
う、こんな思いは二度とイヤです。

白根署管内交通事故発生状況



年別 区分	58年	59年	60年	61年	62年	63年	元年	2年	3年	4年
件数	170	176	184	193	195	198	181	218	205	210
死者	6	3	4	3	4	3	5	7	5	10
傷者	199	240	224	249	239	244	220	281	256	271